令和４ 年 度（ ２０２２ 年 度 ）

名古屋市立大学大学院薬学研究科博士後期課程

共同ナノメディシン科学専攻

（ １０ 月 入 学 ） 学　　生　　募　　集　　要　　項

1　募集人員

共同ナノメディシン科学専攻*　　若干名

*名古屋市立大学薬学研究科と名古屋工業大学が共同で設置する大学院で、新しい創薬マテリアルや薬物送達手法の開発にあたる研究者・技術者を養成し、わが国の創薬産業を新しい視点から担うことの出来る人材を育成することを目標とします。
学位は「博士（ナノメディシン科学)」が両大学の連名で授与されます。

2　出願資格

(1)　修士の学位を有する者又は令和４年９月までに取得見込みの者
(2)　外国において、修士の学位若しくはこれに相当する学位を授与された者又は令和４年９月までに授与される見込みの者
(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和４年９月までに授与される見込みの者
(4)　我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和４年９月までに授与される見込みの者
(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第１条第２項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和４年９月までに授与される見込みの者
(6)　外国の学校、(4)に規定する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修した者であって、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、本学薬学研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
(7)　文部科学大臣の指定した者
(8)　本学薬学研究科において、個別の入学審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和４年９月 30 日までに 24 歳に達するもの

(注)志願者は、**入学後の研究計画等について事前に志望部門（専攻科目）の責任者に必ず問い合わせてください。**
(注)**出願資格(6)、(7) 又は(8)により出願しようとする者**は、出願資格予備審査を行うので、事前に志望分野の責任者の承諾を得て、封筒の表に「薬学研究科博士後期課程予備審査書類在中」と朱書きし、下記の期間内に予備審査願等（**4 出願書類等**⑪参照）を次頁の出願受付場所に書留速達で郵送してください。期限までに到着しなかった場合は受け付けしません。(期間内消印有効ではありませんから注意してください。)

予備審査受付期間：令和４年６月 20 日（月）～令和４年６月 22 日（水）

なお、外国からの郵送による予備審査申請は認めません。国外から申請する場合は、必ず日本国内在住の代理人が申請手続きを行ってください。本学からの通知も代理人あてに行います。

3　出願期間及び方法

令和４年７月 14 日（木）～令和４年７月 20 日（水）〔必着〕

郵送に限ります。窓口受付は行いません。必要事項を記入した出願書類提出用封筒の表紙＜本学所定＞を角型２号の封筒（ご自身でご用意ください）に貼り付け、その封筒に出願書類等を入れ、書留速達で郵送してください。

期限までに到着しなかった場合は受け付けません。**（期間内消印有効ではないので、注意してください。）**

出願書類を受け付けしたときは、受験票、試験場案内を後日お送りします。

出願期間後１週間を過ぎても届かない場合は、必ず〔学生課入試係薬学研究科入試担当〕にお尋ねください。

＜出願・入学等に関する照会先＞

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄１番地
名古屋市立大学 学生課入試係
薬学研究科入試担当
電話　052-853-8020

＜事前協議･研究内容に関する照会先＞

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通３－１
名古屋市立大学 薬学部事務室
薬学研究科入試担当
電話　052-836-3402
（地下鉄　桜通線「瑞穂区役所」下車１番出口から徒歩 15 分）

なお、外国からの郵送による出願は認めません。国外から出願する場合は、必ず日本国内在住の代理人が出願手続きを行ってください。本学からの通知も代理人あてに行います。

4　出願書類等

書　類　等		摘　要
①	入学願書 写真票 顔写真 受験票 履歴事項 （入学願書裏面）	〔本学所定用紙使用〕 ・写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦４cm×横３cm、出願前３か月以内に撮影したものを貼り付けしてください。 ・顔写真１枚（写真票に貼付けしたものと同じもの） ・受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。 ・学歴は、大学入学から記入してください。 ・外国の学校教育を受けた者は、初等教育（小学校相当）から高等教育（大学相当）まで、修了した学校教育をすべて記入してください。 ・職歴のある方は記入してください。
②	成績証明書	・在籍又は出身大学等の長が作成したものです。 ・コピーは不可。ただし、外国の高等教育機関（大学等）で発行された証明書で、再発行ができないものについては、コピーの提出を認めます。この場合は、原本は送らないで下さい。合格者には入学手続き時に原本を持参していただきます。 ・外国語で作成されたものには、日本語訳を任意の様式で作成し添付してください。証明書に直接書き込まないでください。
③	博士前期（修士）課程修了（見込）証明書	・在籍又は出身大学等の長が作成したものです。 ・出願資格(2)から(5)により出願する者は、学位の授与を証明する書類を提出してください。 ・出願資格(7)により出願する者は、大学、研究所等の在籍を証明する書類を提出し、併せて大学又は外国の教育課程において修了した高等教育機関（大学相当）の修了証明書を提出してください。

		・コピーは不可。ただし、外国の高等教育機関（大学等）で発行された証明書で、再発行ができないものについては、コピーの提出を認めます。この場合は、原本は送らないで下さい。合格者には入学手続き時に原本を持参していただきます。 ・外国語で作成されたものには、日本語訳を任意の様式で作成し添付してください。証明書に直接書き込まないでください。
④	修士学位論文の要旨または修士論文に代わる研究経過報告書	・修士学位論文の要旨、修士論文がない場合は研究経過報告書（以下「修士論文要旨等」といいます。）を提出してください。 ・Ａ４用紙２ページ程度でまとめてください。（片面印刷し、左上１箇所をクリップ留めしてください。）
⑤	TOEIC 等の公式スコア ※コピーは不可	令和２（2020）年４月１日以降に受験した TOEIC(Listening& Reading TEST)、TOEFL-iBT、または IELTS（academic module）の公式スコア（TOEIC なら TOEIC 公開テストの Listening& Reading TEST の公式スコアの原本(TOEIC のホームページからダウンロードし印刷された成績表は不可)、TOEFL なら Examinee's Score Report（受験者用控えスコア票）、IELTS なら Test report form（IELTS スコア公式成績証明書））の原本（コピーは不可）を提出してください。 英語試験は必ず出願期間に成績が提出できる回を受験してください。 ＊なお、各々、次に示す点数相当以上の英語力を有することが望まれます。ただし、この点数は出願資格とするものではありません。 TOEIC 600 点、TOEFL-iBT 62 点、IELTS5.0 点 ＊提出された公式スコアは返還しません。 ＊薬学研究科が定める計算式により換算して外国語（英語）の得点を決定し、合否判定の資料とします。なお、複数のスコアが提出された場合は、換算の結果最も高い得点を採用します。
⑥	受験承諾書	〔本学所定用紙使用〕 ・予め志望分野の教員と研究内容等について相談のうえ、出願すること
⑦	受験許可書	〔本学所定用紙使用〕 ・現に在職中の者で入学時までに休・退職をしない者は、所属長の受験許可が必要です。
⑧	入学検定料等 (30, 344 円)	・入学検定料等は、振込依頼書（本学所定のもの）を使用し、必要事項を記入のうえ、30, 344 円（入学検定料 30, 000 円＋受験票等送付のための速達郵便料金 344 円）を添えて銀行などで振込んでください。 **ゆうちょ銀行（旧郵便局）では取り扱いません。また、ＡＴＭ等は使わず必ず窓口で振込んでください。** ・振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ・銀行などから受け取った「検定料等納付証明書（Ｂ票)」を他の出願書類と一緒に提出してください（「振込金（兼手数料）受領書（Ａ票)」は、入学志願者が保管するものですから注意してください)。 **※ 既納の入学検定料等は原則として返還しません**（後記 **12** (4)参照)。
⑨	あて名用シール	〔本学所定用紙使用〕 ・返信先を明記してください。受験票等の送付及び合否を通知するときに使用しますので、**確実に受領できる住所・氏名**を記入してください。

⑩	住民票 (外国籍の者のみ)	・外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。(※個人番号（マイナンバー）が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。）在留資格期間が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出して下さい。 ・国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出して下さい。
⑪	予備審査願等 (**2 出願資格**(注)参照)	**2 出願資格**(6)、(7)、(8)により出願しようとする者は、予備審査受付期間中に以下の書類をすべて提出してください。 ・〔本学所定用紙使用〕 予備審査願、履歴書、志願理由書、研究歴調書、研究業績調書、返信用封筒（長形３号。返信先を明記し、344 円分の切手を貼ってください。） ・**4 出願書類等**の②、③
⑫	面接用提出資料	・必要事項を記入し、試験当日に提出してください。必要部数等については受験票送付時に連絡します。 ・研究内容の概略は、現在、在籍している大学・大学院・勤務先での研究内容を記載してください。社会人・既卒者は最終学歴在籍時の内容も可。 ・学会発表、学術論文等の業績は直近のものから記載。既卒者・社会人は最終学歴在籍時の内容も可。 面接用提出資料については、本学ウェブサイト（大学院入試情報＞薬学研究科）より Excel データをダウンロードのうえ、パソコン等を使って記入したものを印刷し、提出いただいてかまいません。 ＜本学ウェブサイト＞ https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/phar/index.html
⑬	出願書類提出用封筒	・出願書類提出用封筒の表紙＜本学所定＞に必要事項を記入してください。自身で用意した角型２号の封筒に表紙を貼り付け、出願書類を封入し、学生課入試係宛て郵送してください。封筒の表紙はウェブサイトからダウンロードすることも可能です。 ＜本学ウェブサイト＞ https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/phar/index.html

5　予備審査結果通知

出願資格(6)、(7) 又は(8)により出願しようとする者の出願資格予備審査の結果は出願期間の２日前までにお知らせします。受験を許可された者は、所定の期日までに出願手続きをしてください。上記期限までに通知が届かないときは、〔学生課入試係薬学研究科入試担当〕(P.2) にお尋ねください。

6　障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前までに必ず〔学生課入試係薬学研究科入試担当〕(P.2) まで申し出てください。

7　入学者選抜期日及び方法等

(1) 期日、時間、科目等

試験期日	試験時間	試験科目
令和４年８月 17 日(水)	10:00 ～	専攻科目及び修士論文要旨等について、筆記又は口述により行います。**※**
	13:30 ～	面　接

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、ウェブサービスによる試験を実施する場合があります。

(2) 試験会場及び集合時間
名古屋市立大学大学院薬学研究科（名古屋市瑞穂区田辺通３－１）
受験票とともに案内をお送りします。

(3) 選抜方法
入学者の選抜は、修士論文要旨等、成績証明書、TOEIC 等の公式スコア、試験（専門科目）及び面接の結果を総合して行います。

8　合格発表

令和４年８月 24 日（水）10:00

薬学研究科玄関において合格者の受験番号を発表するとともに､本人あて合否をお知らせします。

※合格者には入学手続期日や必要書類などの入学手続についての案内を送付しますので、必ず確認してください。
※合格発表日後１週間を過ぎても届かない場合は必ず〔学生課入試係薬学研究科入試担当〕まで連絡してください。

9　入学手続

(1) 手続期日

令和４年９月７日（水）

具体的な日時は合格通知に併せてお知らせします。

(2) 手続方法
合格通知に併せて詳細をお知らせします。

(3) 入学手続時に必要な経費

ア　入学料　　名古屋市住民等　　232,000 円
　　その他の者　　332,000 円

※ 本学大学院の博士前期課程を修了して引き続き同一研究科の後期課程へ進学する方は、納付する必要はありません。

イ　学生教育研究災害傷害保険料　　2,600 円

注１　入学金は入学手続時までに金融機関で納付して下さい。**既納の納付金は返還しません。**

注２　名古屋市住民等とは、①入学者　又は　②入学者の配偶者若しくは１親等の親族が入学の

日において同日の前から引き続き１年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

10　授業料

年額　535,800 円（前期・後期分　各 267,900 円）

注１　授業料は、入学後、年２回（前期・後期）に分けて納めてください。（口座引落）
注２　在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。
注３　必要な諸経費について別途徴収することがあります。

11　奨学金制度

日本学生支援機構において大学院学生に対する貸与制度があります。
希望される方は、本学において学業成績及び研究能力等を審査のうえ推薦手続をとります。

12　注意事項

(1) 出願書類等が不備の場合は受理しません。
(2) 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
(3) 出願書類等は返還しません。
(4) 既納の入学検定料等は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料等から手数料を差し引いた入学検定料のみを返還しますので、本学ウェブサイトをご覧ください。
　① 二重で振込みをした場合
　② 入学検定料等の振込み後、出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合も含む）
(5) 受信場所を変更した場合は、直ちに〔学生課入試係薬学研究科入試担当〕に連絡してください。
(6) 二重学籍は原則禁止とします。

13 個人情報の取り扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取り扱います。

(1) 個人情報の利用
　ア　出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。
　イ　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
　ウ　入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
(2) 業者への委託
　上記(1)の各業務での利用に当っては、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者に委託することがあります。

14 アドミッション・ポリシー

名古屋市立大学は、「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学をめざす」ことを大学の基本的理念として掲げ、大学院教育では、大学院生への研究指導は研究活動の活性化の一環であるとの認識に基づき、高度な専門性と学際的視点を備えた研究者及び職業人を育成することを目標としている。

本大学院では、これらの理念や目標のもとに、基本的な専門知識と技術を持ち、高度な専門性と国内外で活躍する意欲と適性を備えた、多様な能力や経歴を有する人材を広く求めている。

(1) 理念・目的・教育目標

薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻では、薬学領域、ならびに工学領域の幅広い知識とそれに基づく深い専門性を修得し、革新的研究を目指し生命薬学、創薬科学等に携わる創造性豊な卓越した能力を有する研究者・技術者の養成を目指している。また、広い視野と高い倫理観を持ち教育、行政等で活躍できる卓越した能力を有する人材の養成も目指している。特に、本専攻では、これらの多岐に亘る高度に専門的な人材を育成するために、当研究科は次のような人を求めている。

(2) 求める学生像

・優れた最先端の研究成果をあげ、世界に発信し、社会に貢献することを志す人
・研究成果を学術論文として発表する過程を通じて、問題解決能力に加えて課題設定能力の獲得に意欲を持つ人
・学際領域における多様な人材の育成の観点から、様々な学問的背景を有し、新たに薬工融合型研究を志す人
・ナノマテリアル、ナノデバイス関連分野に強い関心をもち、薬工両方に精通した研究者を目指す人。
・国際的な人材の育成の観点から、薬工融合研究を志す海外からの留学生

(3) 修得しておくべき知識の内容・水準

・研究遂行に必要な物質科学・生命科学の基礎学力に加え、関連分野の先端的な知識と基礎的実験技術を有すること
・また、基礎的語学力に加え、論文作成や国際学会での発表・討論に必要な語学力を有すること

- 基礎的語学力に加え、論文作成や国際学会での発表・討論に必要な語学力を有すること

(4) 選抜方法

物質科学・生命科学の基礎学力、関連分野の知識と技術を有し、また必要な語学力を有する学生を、以下の方法により選抜する。

【一般選抜】 入学者の選抜は、修士論文要旨等、成績証明書、試験（専攻科目）・外国語（英語）及び面接の結果を総合して行う。研究に必要な語学力については、TOEIC 試験等の公式スコアにより評価する。研究遂行に必要な物質科学・生命科学の基礎学力に加え、関連分野の先端的な知識と技術について、専攻科目及び修士論文要旨等についての試験により評価する。また、面接試験を行い、基礎学力、知識に加え、研究に対する意欲・意志、さらに薬工融合型研究を志す人、ナノマテリアル、ナノデバイス関連分野に強い関心をもち、薬工両方に精通した研究者を目指す人など、求める学生像に合致する人物であるかを評価する。選抜は、これらの結果と成績証明書の評価を総合して行う。

共同大学院について

1 共同して教育課程を構成する大学院（共同大学院）とは

複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し，地域の活性化への貢献や新たな学際的・先端的領域への先導的な対応を可能とする質の高い教育研究を推進するため，共同で教育課程を実施し，連名で学位授与を可能とする仕組みを利用した大学院です。

2　本共同大学院の主な特徴

(1) 名古屋市立大学と名古屋工業大学の連名による学位が授与されます。

(2) 名古屋市立大学と名古屋工業大学の両大学に在籍することになりますが，主として研究指導を担当する専任教員（主指導教員）が在籍する大学に本籍を置き，当該大学の他の学生と同様のサービスを受けることができます。また，「本籍を置かない」大学でも図書館利用などのサービスを受けることができます。ただし，一部，各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。

(3) 本籍を置いた大学以外の構成大学の教員（副指導教員）からも研究指導が受けられる体制となります。

(4) 名古屋市立大学と名古屋工業大学の両大学で開講する共同大学院の講義を受講することになります。

重要なお知らせ

1　出願大学，受験大学，本籍を置く大学について

名古屋市立大学に所属する専任教員を主指導教員とする場合は，名古屋市立大学へ出願し，名古屋市立大学において入学者選抜試験を受験することとなります。この場合，入学後に本籍を置く大学は，「名古屋市立大学」となり，入学手続，授業料等の納付，奨学金の申請等に関して，名古屋市立大学の学生として取扱います。

なお，名古屋工業大学に所属する専任教員を主指導教員とする場合は，名古屋工業大学に出願し，名古屋工業大学において入学者選抜試験を受験することとなります。

2　本共同ナノメディシン科学専攻において，名古屋市立大学と名古屋工業大学を併願することはできません。

緊急時における大学からのお知らせについて

災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容から変更する必要が生じた場合には、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意して下さい。

また、受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、出願書類には必ず連絡のとれる連絡先を書くようにしてください。

○本学ウェブサイト　https://www.nagoya-cu.ac.jp/

敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

新型コロナウイルス感染症の状況により、今後、入学者選抜期日及び方法が変更される場合がありますので、本学ウェブサイト「大学院入試に関するお知らせ」のページを随時ご確認ください。

https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/information/index.html

教 育 課 程 の 概 要

科目区分		授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手
専攻基軸科目		機能医薬創成学概論１	１前	名古屋市立大学		1		○			1	1	1		
		機能医薬創成学概論２	１前	名古屋工業大学		1		○			2				
		薬物送達・動態科学概論１	１前	名古屋市立大学		1		○			1	1		1	
		薬物送達・動態科学概論２	１前	名古屋工業大学		1		○			1	1			
		医薬支援ナノ工学概論１	１前	名古屋市立大学		1		○			1	2			
		医薬支援ナノ工学概論２	１前	名古屋工業大学		1		○			2				
		薬工連携特別演習	１後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		8	5	1	1	
		小計（７科目）	－		2	6		－			8	5	1	1	
専門科目	機能医薬創成学部門	次世代医薬品開発学(1・2)	２後	名古屋市立大学		2		○			1				
		高精密有機合成化学	２前	名古屋工業大学		2		○			1				
		機能医薬創成学特別研究１	２前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	1	1		
		機能医薬創成学特別研究２	２後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	1	1		
		機能医薬創成学特別研究３	３前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	1	1		
		機能医薬創成学特別研究４	３後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	1	1		
		小計（６科目）	－		8	4		－			3	1	1		
	薬物送達・動態科学部門	製剤設計・薬物送達制御学(1・2)	２後	名古屋市立大学		2		○			1				
		生体関連物質設計学	２前	名古屋工業大学		2		○				1			
		薬物送達・動態科学特別研究１	２前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		2	2		1	
		薬物送達・動態科学特別研究２	２後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		2	2		1	
		薬物送達・動態科学特別研究３	３前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		2	2		1	
		薬物送達・動態科学特別研究４	３後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		2	2		1	
		小計（６科目）	－		8	4		－			2	2		1	
	医薬支援ナノ工学部門	医薬支援ソフトマター物性論(1・2)	２後	名古屋市立大学		2		○			1				
		マイクロ・ナノバイオメカニクス	２前	名古屋工業大学		2		○			1				
		医薬支援ナノ工学特別研究１	２前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	2			
		医薬支援ナノ工学特別研究２	２後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	2			
		医薬支援ナノ工学特別研究３	３前	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	2			
		医薬支援ナノ工学特別研究４	３後	名古屋市立大学 名古屋工業大学	2				○		3	2			
		小計（６科目）	－		8	4		－			3	2			
部門共通科目		センサーデバイス開発学特論	１後	名古屋市立大学		1		○							
		薬物動態・超分子解析学特論(1・2)	１後	名古屋市立大学		2		○							
		遺伝情報発現制御学特論(1・2)	１前	名古屋市立大学		2		○							
		先端機能薬理学特論(1・2)	１前	名古屋市立大学		2		○							
		触媒ナノテクノロジー特論	１前	名古屋工業大学		2		○				1			
		メディカルナノテクノロジー特論	１前	名古屋工業大学		2		○			1				
		ナノ薬工学材料評価学特論Ⅰ・Ⅱ	１前	名古屋工業大学		2		○							
		先進薬科学特論	１後	名古屋工業大学		1		○			1				
		生命倫理特論	１前	名古屋市立大学		1		○							
		医薬品産業特論	１前	名古屋市立大学		1		○							
		薬工融合特論	１後	名古屋市立大学		1		○							
		現代知的財産権特論Ⅰ・Ⅱ	１前	名古屋工業大学		2		○							
		テクノロジーインターンシップ	１前・後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2			○		8	5	1	1	
		グローバルプレゼンテーション	１前・後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2			○		8	5	1	1	
		小計（１４科目）	－		0	23		－			8	5	1	1	
合計（３９科目）			－		30	42		－			8	5	1	1	

学位又は称号	博士（ナノメディシン科学）	学位又は学科の分野	薬学関係、工学関係

卒業要件及び履修方法	開設大学	開設単位数（必修）	授業期間等	
専攻基軸科目の選択科目から所属部門以外の科目を４単位、専門科目の選択科目から４単位以上、相手大学の開講科目を１０単位以上修得し、合計で２６単位以上修得すること。また、薬工連携特別演習については、相手大学の開講科目を履修すること。	名市大 名工大	49（28） 49（28）	１学年の学期区分	２期
			１学期の授業期間	１５週
			１時限の授業時間	９０分

専 任 教 員

担当教員					担当科目	研究テーマ
名古屋市立大学	機能医薬創成学	教授	林　秀敏	薬学博士	機能医薬創成学特別研究 次世代医薬品開発学(1･2) 機能医薬創成学概論１ 薬工連携特別演習 テクノロジーインターンシップ グローバルプレゼンテーション	１．細胞性ストレスを標的とした生活習慣病・免疫疾患の治療法の開発 ２．難治がんに対する新たな分子標的治療の開発 ３．がん転移の分子メカニズムの解明とその治療法の開発 ４．薬物代謝酵素の新たな発現制御機構の解明とその応用
		准教授	井上　靖道	博士 (薬学)		
		講師	宮嶋　ちはる	博士 (薬科学)		
	薬物送達・動態科学	教授	尾関　哲也	博士 (薬学)	薬物送達・動態科学特別研究 製剤設計・薬物送達制御学(1･2) 薬物送達・動態科学概論１ 薬工連携特別演習 テクノロジーインターンシップ グローバルプレゼンテーション	１．脳腫瘍・各種癌へのナノ標的化ドラッグ・デリバリー・システム（DDS） ２．経肺投与微粒子DDS ３．ナノキャリアーDDS（リポソーム、金コロイド等） ４．難溶解性・難吸収性薬物の製剤設計
		准教授	田上　辰秋	博士 (薬学)		
		助教	小川 昂輝	博士 (薬学)		
	医薬支援ナノ工学	教授	山中　淳平	博士 (工学)	医薬支援ナノ工学特別研究 医薬支援ソフトマター物性論(1･2) 医薬支援ナノ工学概論１ 薬工連携特別演習 テクノロジーインターンシップ グローバルプレゼンテーション	1.ソフトマター（コロイド、高分子、ゲルなど）の物性研究と医薬領域への応用 2.コロイド系の規則構造形成の研究と材料応用 3.ソフトマターの秩序化過程の計算機シミュレーション 4.量子ドット含有粒子など機能性微粒子の合成と応用
		准教授	奥薗　透	博士 (理学)		
		准教授	豊玉　彰子	博士 (薬学)		

担当教員			
名古屋工業大学	機能医薬創成学	教授	柴田　哲男
		教授	小澤　智宏
	薬物送達・動態科学	教授	出羽　毅久
		准教授	水野　稔久
	医薬支援ナノ工学部門	教授	築地　真也
		教授	中村　匡徳